

JILPT 資料シリーズ

No. 202 2018年3月

厚生労働省「多様化調査」の 再集計・分析結果

— 雇用の多様化の変遷（その4）

／平成15・19・22・26年調査—



独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

厚生労働省「多様化調査」の再集計・分析結果
—雇用の多様化の変遷（その4）／平成15・19・22・26年調査—

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

この資料シリーズは、労働政策研究・研修機構（JILPT）の多様な雇用形態に関する研究の一環として平成 29 年度に実施した、厚生労働省「就業形態の多様化に関する総合実態調査」の再集計・分析の結果をとりまとめたものである。

「多様化調査」の再集計・分析は、JILPT において、これまで過去 3 回行ってきており、今回は 4 回目に当たる。代表性の確かな政府統計である「多様化調査」データの再集計・分析を通じて、近年における非正規雇用の動向を捉えるための基礎データを整備・提供すること、加えて、ときどきの問題意識に基づいた所要の分析を行い、政策的なインプリケーションを導出することを目的としている。雇用の多様化の進展は文字どおり多様であり、多様な視点をもつことが重要であり、また、ときどきの経済社会の状況にも影響されている。そのため、的確なデータにより常にその動向を確認することが求められるが、そのための一助となることをめざしている。

この資料シリーズが雇用・就業形態の多様化に関する基礎資料の一つとして、労働政策の担当者や企業関係者をはじめとして、広く雇用の多様化に関心をもたれる方々に活用いただくことを期待したい。

2018 年 3 月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅 野 和 夫

執筆担当者

氏名	所属	担当箇所
あさお 浅尾 裕	労働政策研究・研修機構	特任研究員
ふじもと 藤本 隆史	〃	アシスタント・フェロー
り 李 青雅	〃	アシスタント・フェロー

なお、労働政策研究・研修機構の高橋康二（副主任研究員）から、第Ⅱ部第3章付表の分析方法やとりまとめに関し、多大なご協力を受けた。

目 次

第 I 部 「多様化調査」データの再集計結果の概説	1
序 「多様化調査」の概要と集計結果をみる前提	1
1. はじめに	1
2. 「多様化調査」の概要と集計結果をみる前提情報	2
3. この資料シリーズの全体構成	10
第 1 章 多様化の進展状況（産業別を中心に）	12
1-1 「特別集計産業分類」の概説	12
1-2 それぞれの雇用就業形態がいる事業所の割合の推移	14
1-3 契約社員、派遣労働者及びパートタイム労働者の 3 形態相互の存否	16
1-4 雇用就業形態別労働者数構成割合の推移	18
第 2 章 非正規雇用に関する事業所の活用理由、活用上の問題、制度適用状況	23
2-1 事業所の活用理由	23
2-2 事業所からみた活用上の問題点	33
2-3 事業所における雇用関係各種制度の適用状況	35
<補論> 事業所の非正規雇用活用に関する関数分析結果	39
第 3 章 賃金に関する集計結果	51
3-1 データの紹介	51
3-2 賃金をみる場合の留意点と賃金プロファイルの傾向の先行的概観	51
3-3 雇用就業形態別勤続別平均賃金の集計結果－勤続プロファイルの概観－	54
第 4 章 特定の産業の特定の職種に関する集計結果	62
4-1 特定産職の設定	62
4-2 形態構成の推移	63
4-3 特定産職における平均賃金の集計結果	66
4-4 特定産職における賃金の勤続プロファイル	68
第 5 章 ライフステージ別の集計結果	70
5-1 ライフステージの設定と留意点	70
5-2 ライフステージと雇用就業形態別構成	72
5-3 ライフステージと雇用就業形態選択理由	75
5-4 ライフステージと世帯生計維持者	78
5-5 ライフステージと今後の就業希望－現在の会社で働きたい人の割合－	81
5-6 ライフステージと仕事満足度	82
第 6 章 平成 26 年調査での新設調査項目に関する集計結果	88
6-1 勤続期間別にみた無期雇用転換希望状況	88

6-2 非正規形態経験年数別にみた現在正社員である割合	90
補章 20～24歳・在学中の就業者に関する集計結果	92
第Ⅱ部 特定のテーマに関する詳細分析結果	96
第1章 性別・就業形態別にみた仕事の満足度	97
第1節 現在の職場での満足度	97
第2節 「職業生活全体」の満足度と他の満足度の関係	105
第3節 仕事の満足度の要因分析	113
第4節 本章のまとめ	124
第2章 女性の不本意短時間就労と育児負担、育児環境	127
第1節 はじめに	127
第2節 推定モデルと使用データ	128
第3節 育児負担と不完全就業	129
第4節 育児環境と不完全就業	132
第5節 おわりに	139
第3章 賃金関数による賃金に関する分析結果	142
第1節 この章における賃金関数の推定方法等	142
第2節 計測された形態間賃金格差の推移	144
第3節 その他の計測結果の概観	154
第4節 若干の考察	161
付表 事業所固定効果をコントロールした賃金関数の推計	163
第4章 その他のトピックスに関する分析結果	172
第1節 有期雇用者の無期転換等の希望について	172
第2節 パートタイム労働者に対する各種制度の適用について	178
第3節 パートタイム労働者の労働時間の増減希望状況について	188
まとめと若干の考察	193
巻末付属集計表	200